

第21期

環境報告書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

2024年6月1日

株式会社BWM

許可自治体	認定優良	許可番号	許可年月日	有効期限	事業の範囲 処理方法	産業廃棄物の種類	備考
福島県	○	00720113164	令和1年9月9日	令和8年8月3日	中間処理 破砕(移動式)	木くず	
岩手県		00320113164	令和3年12月19日	令和8年12月18日	中間処理 破砕(移動式)	木くず	
秋田県	○	00527113164	令和4年9月6日	令和11年9月5日	中間処理 破砕(移動式)	木くず	
福島市	○	12420113164	令和元年8月4日	令和8年8月3日	中間処理 破砕(移動式)	木くず	
青森県		00221113164	令和元年9月26日	令和6年9月25日	中間処理 破砕(移動式)	木くず	

2) 事業計画の概要

宮城県黒川郡大和町と登米市南方に産業廃棄物中間処理施設を設置し、伐採工事等から出される枝葉や伐根等の木くずの収集運搬及びチップ化処理を行っている。

施設でチップ化した木くずは、主に発電用燃料としてバイオマス発電所に供給している。

3) 施設等の状況

【収集運搬車両】

10tヒアブクレーン車 2 台、4tアームロール車 1 台、10t深ダンプ 2 台 合計 5 台
うち平成 22 年規制適合／排出ガス 10%低減車・平成 27 年度燃費基準達成車 1 台、
平成 21 年基準適合／排出ガス 10%低減車・平成 27 年度燃費基準達成車 3 台、
平成 28 年基準適合車・H27 年度燃費基準 5%向上達成車 1 台

【積替え保管施設】

所在地:宮城県黒川郡大和町松坂平八丁目 3 番地 17

保管面積:32.4 m²

保管上限高さ:2.2m

保管上限量:40.6 m³(廃プラスチック類…8 m³、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類…各 4 m³、廃油…0.2 m³、汚泥…0.4 m³、石綿含有産業廃棄物…8 m³)

【産業廃棄物中間処理施設】

① 大和プラント

施設の種類:木くずの破砕施設

所在地:宮城県黒川郡大和町松坂平八丁目 3 番地 17(第一仙台北部中核工業団地内)

敷地面積:4,977 m²

建 物:廃木材リサイクル A 棟 鉄骨造 1599.12 m²、B 棟 鉄骨造 914 m²、事務所棟 鉄骨造 235.44 m²

産業廃棄物処理施設設置許可:令和 2 年 10 月 12 日 許可番号 06-15-3

令和 2 年 10 月 12 日 許可番号 3-61-0

処理する産業廃棄物の種類:木くず

主要設備:二軸破砕機ビッグバス SRS650C(一次破砕機) 処理能力 229.79t/日(11 時間稼働)

モバーク・タブグラインダー1000E(二次破砕機) 処理能力 123.20t/日(11 時間稼働)

ロータリースクリーン、チップ搬送コンベアライン
木材カッター1台、油圧ショベル2台、フォークリフト1台、ショベルローダー1台
スタースクリーン(選別機) 1台

② 南方プラント

施設の種類:木くずの破碎施設
所在地:宮城県登米市南方町実沢 152 番 2
敷地面積:7,444 m²
建 物:工場棟 鉄骨造 912 m² 事務所棟 44.31 m²
産業廃棄物処理施設設置許可:平成 29 年 2 月 2 日 許可番号 07-22-1
処理する産業廃棄物の種類:木くず
主要設備:二軸破碎機 HAAS(一次破碎機)
モバーク・タブグラインダー1000E(二次破碎機) 処理能力 89.6t/日(8時間稼働)
ロータリースクリーン、チップ搬送コンベアライン
木材カッター1台、油圧ショベル2台、フォークリフト1台、ショベルローダー1台

③ 移動式破碎施設(2施設)

モバーク・タブグラインダーS1000TRACK
施設の種類:移動式木くずの破碎施設
処理能力:120t/日(8時間稼働)
許可取得自治体:宮城県、仙台市、岩手県、福島県、福島市、青森県、秋田県、山形県

二軸破碎機ビッグバス SRS650C

施設の種類:移動式木くずの破碎施設
処理能力 226.4 t/日(8時間稼働)
許可取得自治体:宮城県、仙台市、岩手県、福島県、福島市、青森県、山形県

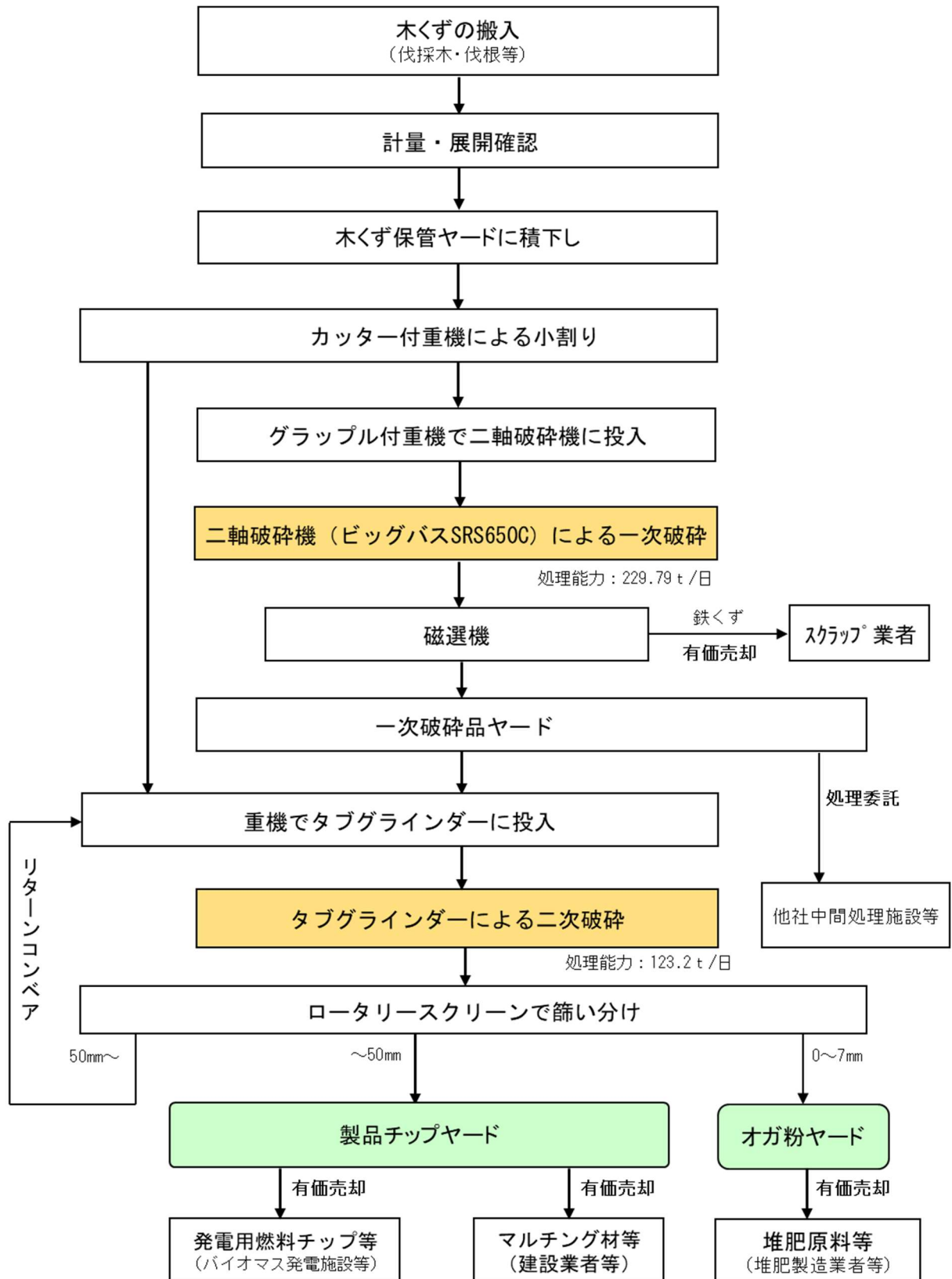
【一般廃棄物の再生施設】 ※登録対象外施設

豊里プラント

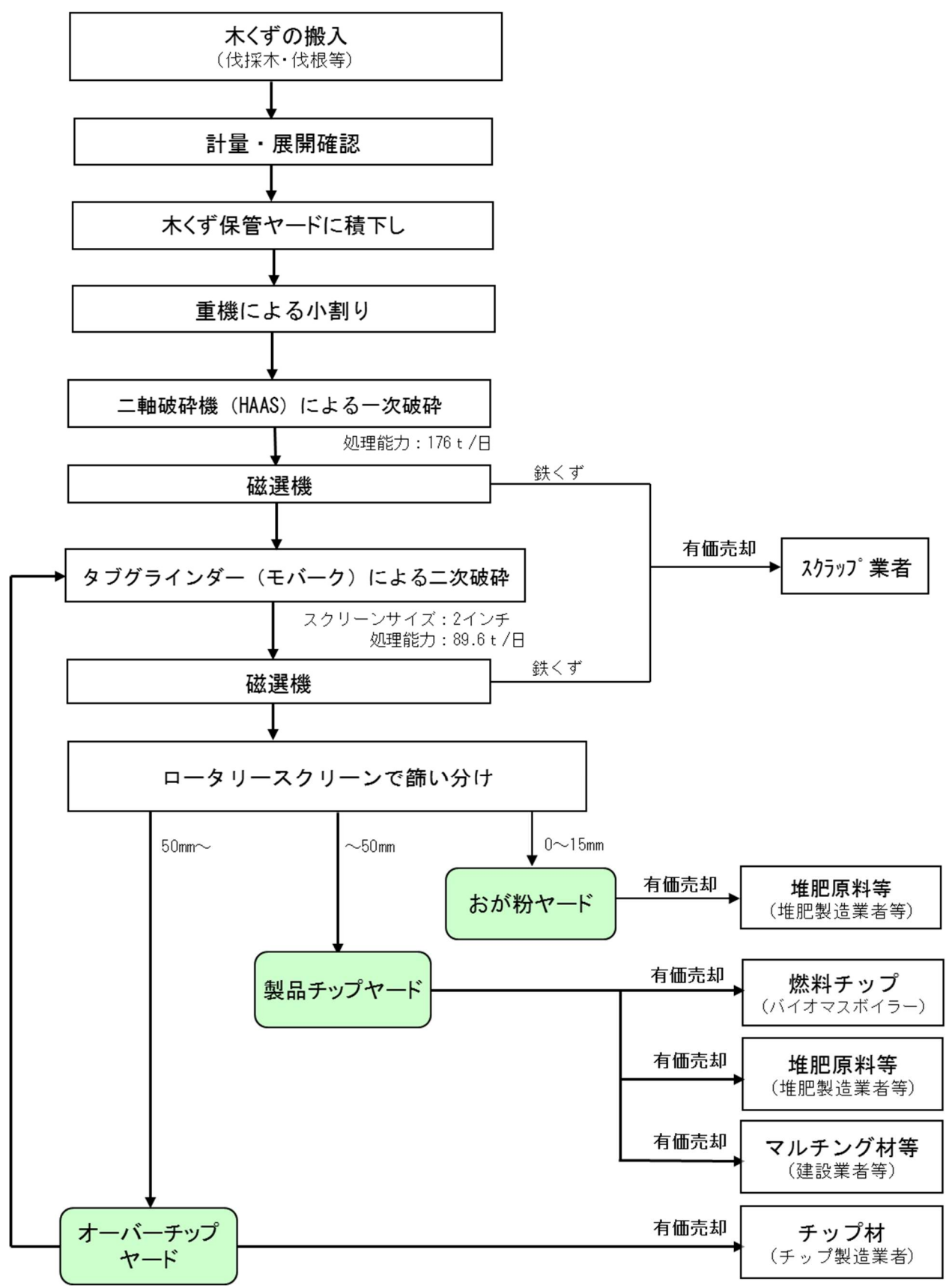
施設の種類:一般廃棄物(刈草・萱・稲わら)の発酵堆肥化施設
所在地:宮城県登米市豊里町笑沢 153-4
敷地面積:13,284 m²
建 物:二次発酵ヤード棟 木造 200.00 m² 事務所棟 軽量鉄骨造 2階建て
処理する一般廃棄物の種類:刈草・萱・稲わら
主要設備:一次発酵ヤード① 2,100 m²、一次発酵ヤード② 2,100 m²
自走式堆肥攪拌機トップターンX53、トロンメルスクリーン 1台、
ホイールローダー1台、フォークリフト1台

4) 処理工程

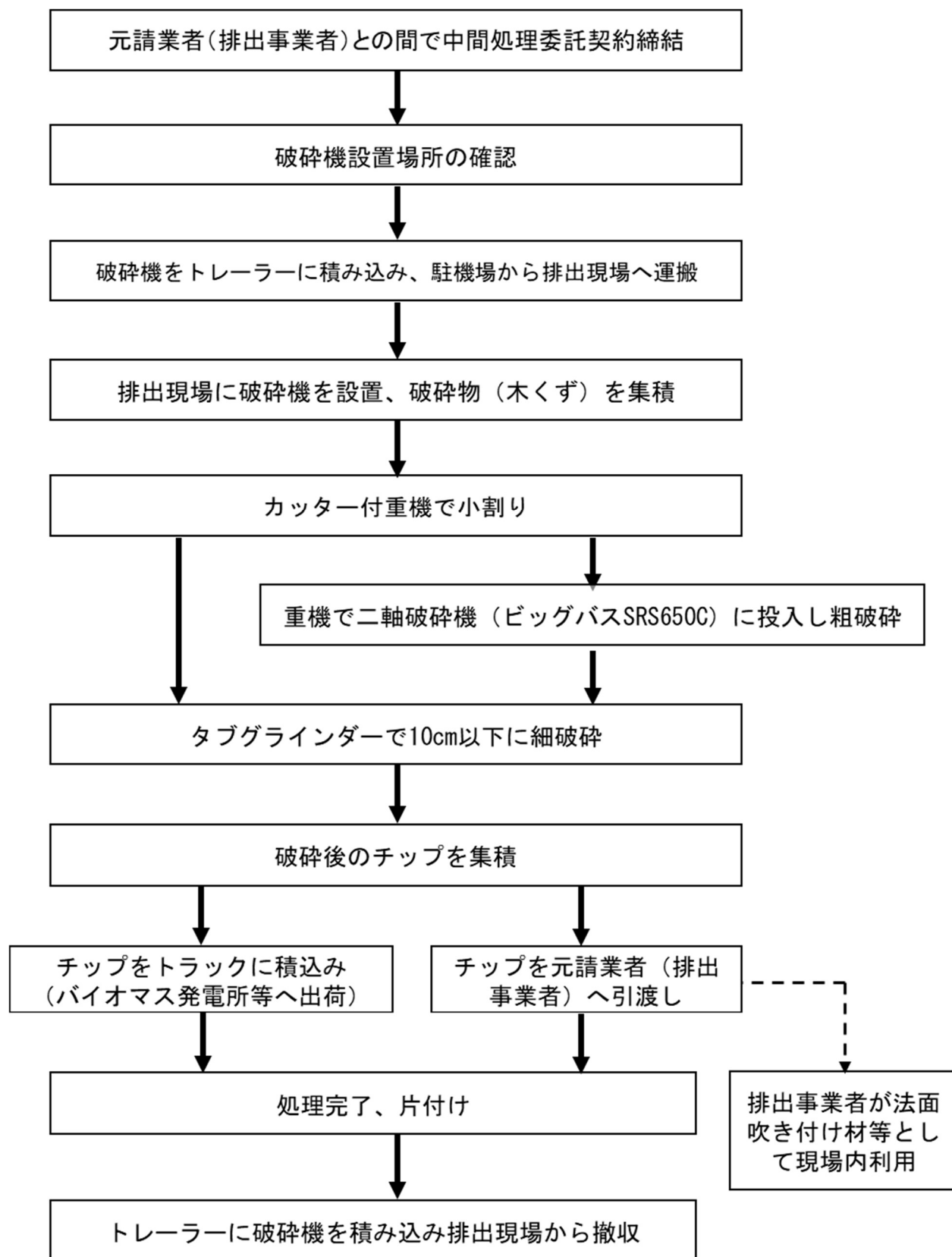
① 大和プラント



① 南方プラント



② 移動式施設



5) 処理実績

産業廃棄物収集運搬業

単位:t

産業廃棄物の種類	令和5年									令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
廃プラスチック類													0
紙くず													0
木くず	628	658	1,116	889	794	486	975	709	341	478	717	1,647	9,437
繊維くず													0
金属くず													0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず													0
廃石膏ボード													0
がれき類													0
管理型混合													0
合計	628	658	1,116	889	794	486	975	709	341	478	717	1,647	9,437

産業廃棄物処分業

① 大和プラント

単位:t

産業廃棄物の種類	処分方法		令和5年									令和6年			合計
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
木くず	破碎	受入量	554	739	631	380	464	220	869	421	129	249	491	2,262	7,409
		処分量	554	739	631	380	464	220	869	421	129	249	491	2,262	7,409
処理後残さ	破碎	処分委託量	59	44	6	7	0	0	56	30	0	0	18	1	220

南方プラント

単位:t

産業廃棄物の種類	処分方法		令和5年									令和6年			合計
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
木くず	破碎	受入量	393	228	1,018	796	522	298	331	382	245	206	399	804	5,621
		処分量	393	228	1,018	796	522	298	331	382	245	206	399	804	5,621
処理後残さ	破碎	処分委託量		10	15	13	11	17	6	8	43	27	85	28	263

2. 登録対象

(1) みちのく EMS 登録内容

認証登録年月日:2021年9月28日(初回登録日2009年9月28日)

有効期限 :2025年9月27日

認証登録番号 :09005

(2) 登録範囲

登録範囲(サイト)

① 大和プラント(宮城県黒川郡大和町松坂平8丁目3-17)

事業内容:産業廃棄物処分業、収集運搬業

従業員数:8名

敷地面積:4,977 m²

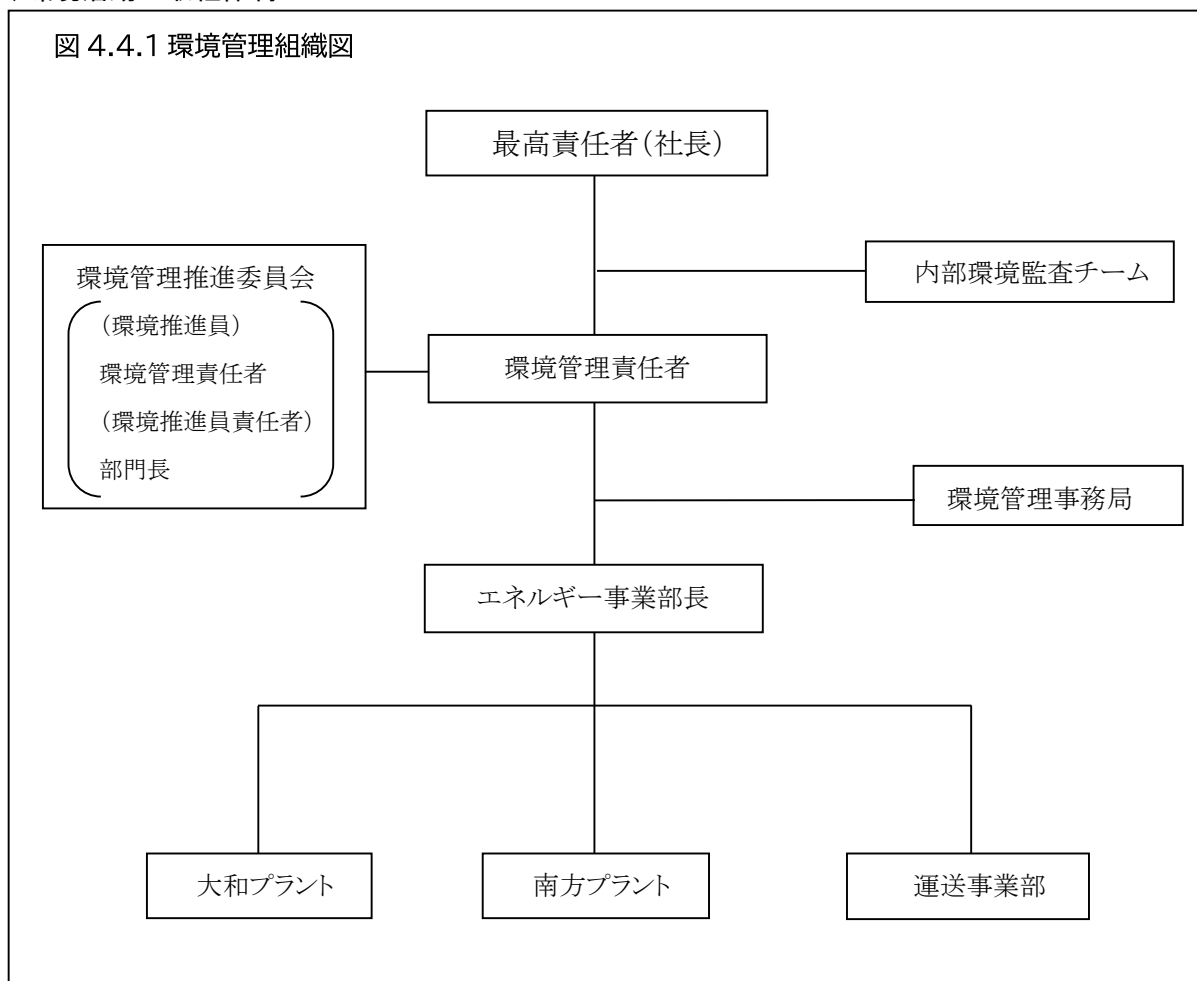
② 南方プラント(宮城県登米市南方町実沢152-2)

事業内容:産業廃棄物処分業、収集運搬業

従業員数:4名

敷地面積:7,444 m²

(3) 環境活動の取組体制



3. 環境方針

株式会社BWM 環境方針

基本理念

1. 私たちは、あらゆる尊い『いのち』を大切に想い、地球に優しい環境創りに挑戦します。
1. 私たちは、『未来へ伝える心』を大切に、人と自然が育み続ける社会を創造します。
1. 私たちは、『感謝の気持ち』を忘れず、夢の実現へ共に育ち成長し続けます。

環境方針

1. 事業活動にあたって、環境に関する法規制、その他の要求事項を遵守することを約束する。
2. 本環境方針に沿って環境目標を具体的に設定し、全社員は一致協力してその達成に努める。
3. 社内のあらゆる活動において発生する環境に及ぼす影響を常に認識し、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和、汚染の予防、その他の環境保護活動に取り組むことを約束する。
4. 環境パフォーマンスを向上させるため、定期的に環境目標の実績を評価し、見直しを行い、継続的改善に努める。
5. 環境教育・周知活動を推進し、全社員の環境意識の向上を図るとともに、環境方針を社外に公開する。

2021年1月1日

株式会社 B W M
代表取締役 齋藤 博

4. 環境目的・環境目標

2022年度～2024年度 環境目標達成計画表

部門	目標	基準年	各年度目標			実施事項（日程含む）	必要な資源	部門責任者	達成期限	達成確認 評価方法
		2020年度	2022年度	2023年度	2024年度					
大和プラント	プラントからのCO2排出量の削減	総排出量 140,806kg (処理量 7,083 t) 処理量1 tあたりの 排出量 19.88kg	19.7kg/t 以下	19.6kg/t 以下	19.6kg/t 以下	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み・休憩時の消灯、電源OFF ・受入れ計画・処理計画の十分な検討による作業のムダの削減 ・作業工程の十分な検討、稼働率の向上 ・アイドリングストップの励行、暖気運転の削減 ・施設整備の徹底 ・買い替え時の省エネ機器の選択 ・受け入れ量アップ（県内現場営業強化） 	要員の意識と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプログラムで評価
	水使用量の削減	230m ³ /年	228m ³ /年以下	227m ³ /年以下	227m ³ /年以下	<ul style="list-style-type: none"> ・作業者の節水意識の向上 ・適切な水量調整、水を出しっぱなしにせずこまめに止めることなどによる節水 ・洗車や清掃時も節水を意識して行う 	要員の意識と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプログラムで評価
	事業系一般廃棄物の削減	450ゴミ袋75袋	ゴミ袋73袋以下	ゴミ袋72袋以下	ゴミ袋72袋以下	<ul style="list-style-type: none"> ・社員の意識の向上 ・紙ごみのリサイクルの徹底 	要員の意識と協力	小野愛	各年度	環境マネジメントプログラムで評価
	リサイクルの推進	チップ出荷量 4,496 t (374 t/月)	7,200 t 以上	7,200 t 以上	7,200 t 以上	<ul style="list-style-type: none"> ・搬出先の確保、新規開拓の継続 ・搬出トラックの確保、搬出先との綿密な打ち合わせ ・機械の点検・整備の日程を決め、確実に実施し機械故障をなくす ・製品の品質の確保、製品在庫の確保 ・受け入れ量アップ（県内現場営業強化） 	要員の意識と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプログラムで評価
南方プラント	プラントからのCO2排出量の削減	総排出量 199,497kg (処理量 9,128 t) 処理量1 tあたりの 排出量21.86kg	21.7kg/t 以下	21.6kg/t 以下	21.6kg/t 以下	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み・休憩時の消灯、電源OFF ・受入れ計画・処理計画の十分な検討による作業のムダの削減 ・作業工程の十分な検討、稼働率の向上 ・アイドリングストップの励行、暖気運転の削減 ・施設整備の徹底 ・買い替え時の省エネ機器の選択 ・受け入れ量アップ（県内現場営業強化） 	要員の意識と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプログラムで評価
	水使用量の削減	54m ³ /年	52m ³ /年以下	51m ³ /年以下	51m ³ /年以下	<ul style="list-style-type: none"> ・作業者の節水意識の向上 ・適切な水量調整、水を出しっぱなしにせずこまめに止めることなどによる節水 ・洗車や清掃時も節水を意識して行う 	要員の意識と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプログラムで評価
	事業系一般廃棄物の削減	450ゴミ袋60袋	ゴミ袋60袋以下	ゴミ袋60袋以下	ゴミ袋60袋以下	<ul style="list-style-type: none"> ・社員の意識の向上 ・紙ごみのリサイクルの徹底 	要員の意識と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプログラムで評価
	リサイクルの推進	チップ出荷量 7,372 t	6,000 t 以上	6,000 t 以上	6,000 t 以上	<ul style="list-style-type: none"> ・搬出先の確保、新規開拓の継続 ・搬出トラックの確保、搬出先との綿密な打ち合わせ ・機械の点検・整備の日程を決め、確実に実施し機械故障をなくす ・製品の品質の確保、製品在庫の確保 ・受け入れ量アップ（県内現場営業強化） 	要員の意識と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプログラムで評価
運送事業部	収集運搬車両の燃料消費量の削減	燃料消費量 93,314ℓ 運搬量100,595m ³ 運搬量1m ³ あたりの 燃料消費量 0.93ℓ/m ³	0.91ℓ/m ³ 以下	0.90ℓ/m ³ 以下	0.90ℓ/m ³ 以下	<ul style="list-style-type: none"> ・運搬計画の十分な検討による走行距離の短縮、渋滞の回避 ・運転者の意識の向上（エコドライブ、アイドリングストップ） ・暖気運転の削減 ・車両整備の徹底 ・近隣現場から回収量アップ（県内現場営業強化） 	要員の意識と協力	金澤英明	各年度	環境マネジメントプログラムで評価

5. 環境活動の実績

(1) 環境マネジメントプログラムの達成状況

2023年度環境マネジメントプログラム(大和プラント及び運送事業部)

環境目的	2023年度目標	主要施策	実績値	評価※
プラントからの 二酸化炭素排出量 の削減	廃棄物処理量 1tあたりの 二酸化炭素排出量 19.6 kg-CO2/t以下 (2020 年度実績) 廃棄物処理量 1tあたりの CO2 排出量:19.88 kg/t 電力消費量:134,420kwh 軽油消費量:30,870ℓ CO2 排出量:140,806kg 廃棄物処理量:7,083t	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み・休憩時の消灯、電源 OFF ・受入れ計画・処理計画の十分な検討による作業のムダの削減 ・作業工程の十分な検討、稼働率の向上 ・アイドリングストップの励行、暖気運転の削減 ・施設整備の徹底 ・買い替え時の省エネ機器の選択 ・受け入れ量アップ(県内現場営業強化) 	廃棄物処理量 1tあたりの CO2 排出量:18.07 kg 電力消費量:144,719kwh 軽油消費量:26,905ℓ CO2 排出量:135,262kg 廃棄物処理量:7,484t	A
水使用量の削減	水使用量 227 m ³ /年以下 (2020 年度実績) 230 m ³ /年	<ul style="list-style-type: none"> ・作業者の節水意識の向上 ・適切な水量調整、水を出しっぱなしにせずこまめに止めることなどによる節水 ・洗車や清掃時も節水を意識して行う 	水使用量 142 m ³ /年	A
事業系一般廃棄物の 削減	45ℓごみ袋 72 袋以下 (2020 年度実績) 75 袋/年	<ul style="list-style-type: none"> ・社員の環境意識の向上 ・紙ごみのリサイクルの徹底 	45ℓ ごみ袋 70 袋	A
リサイクルの推進	チップ出荷量 7,200t/年以上 (2020 年度実績) 4,496t/年	<ul style="list-style-type: none"> ・搬出先の確保、新規開拓の継続 ・搬出トラックの確保、搬出先との綿密な打ち合わせ ・機械の点検・整備の日程を決め、確実に実施し機械故障をなくす ・製品の品質の確保、製品在庫の確保 ・受け入れ量アップ(県内現場営業強化) 	年間チップ等出荷量 6,697t (月平均 558.08t)	B
収集運搬車両の燃料 消費量の削減	運搬量 1m ³ あたりの軽油 消費量 0.90ℓ以下に削減 (2020 年度実績) 運搬量 1m ³ あたりの軽油 消費量:0.93ℓ 軽油消費量:93,314ℓ 運搬量:100,595m ³	<ul style="list-style-type: none"> ・運搬計画の十分な検討による走行距離の短縮、渋滞の回避 ・運転者の意識の向上(エコドライブ、アイドリングストップ) ・暖気運転の削減 ・車両整備の徹底 ・近隣現場から回収量アップ(県内現場営業強化) 	運搬量 1m ³ あたりの軽油消費 量:1.39ℓ 軽油消費量:122,220ℓ CO2 排出量:315,327kg 運搬量:87,992m ³	C

※A:良好(達成率 100%以上) B:やや不足(90~100%) C:不適合(90%以下)

2023年度環境マネジメントプログラム(南方プラント)

環境目的	2023年度目標	主要施策	実績値	評価※
プラントからの 二酸化炭素排出量 の削減	廃棄物処理量 1tあたりの 二酸化炭素排出量 21.6 kg-CO2/t以下 (2020 年度実績) 廃棄物処理量 1tあたりの CO2 排出量:21.86 kg/t 電力消費量:164,504kwh 軽油消費量:48,313ℓ CO2 排出量:199,497kg 廃棄物処理量:9,128t	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み・休憩時の消灯、電源 OFF ・受入れ計画・処理計画の十分な検討による作業のムダの削減 ・作業工程の十分な検討、稼働率の向上 ・アイドリングストップの励行、暖気運転の削減 ・施設整備の徹底 ・買い替え時の省エネ機器の選択 ・受け入れ量アップ(県内現場営業強化) 	廃棄物処理量 1tあたりの CO2 排出量:27.50 kg 電力消費量:167,216kwh 軽油消費量:44,574ℓ CO2 排出量:191,084kg 廃棄物処理量:6,948t	C
水使用量の削減	水使用量 51 m ³ /年以下 (2020 年度実績) 54 m ³ /年	<ul style="list-style-type: none"> ・作業者の節水意識の向上 ・適切な水量調整、水を出しっぱなしにせずこまめに止めることなどによる節水 ・洗車や清掃時も節水を意識して行う 	水使用量 58 m ³ /年	C
事業系一般廃棄物の 削減	45ℓごみ袋 60 袋以下 (2020 年度実績) 60 袋/年	<ul style="list-style-type: none"> ・社員の環境意識の向上 ・紙ごみのリサイクルの徹底 	45ℓ ごみ袋 51 袋	A
リサイクルの推進	チップ出荷量 6,000t/年以上 (2020 年度実績) 7,372t/年	<ul style="list-style-type: none"> ・搬出先の確保、新規開拓の継続 ・搬出トラックの確保、搬出先との綿密な打ち合わせ ・機械の点検・整備の日程を決め、確実に実施し機械故障をなくす ・製品の品質の確保、製品在庫の確保 ・受け入れ量アップ(県内現場営業強化) 	年間チップ出荷量 6,657t (月平均 554.75t)	A

※A:良好(達成率 100%以上) B:やや不足(90~100%) C:不適合(90%以下)

(2) 環境活動の評価と課題

1) 大和プラント

① 廃棄物処理量 1tあたりの二酸化炭素排出量の削減・・・目標達成

2023 年度前半は搬入多かったが、後半が少なかった。枝葉等、モバークで直接破碎できるものは破碎ヤードへ直接積み下ろしし、一次破碎をせず処理することによりエネルギー消費量を削減したこと等により目標を達成した。

	2020 年度 (基準年度)	2021 年度	2022 年度	2023 年度	基準年度比
木くず・刈草受入れ量	7,335 t	3,678 t	9,412 t	7,735 t	1.05
処理量(搬出量)	7,083 t	3,850 t	7,652 t	7,484 t	1.06
電力消費量	134,420kwh	81,953kwh	111,575kwh	144,719	1.08
電力消費に伴う CO2 排出量	61,161 kg	40,567 kg	55,230 kg	65,847 kg	1.08
軽油消費量	30,870ℓ	13,044ℓ	23,681ℓ	26,905ℓ	0.87
軽油消費に伴う CO2 排出量	79,645 kg	33,654 kg	61,097 kg	69,415 kg	0.87
CO2 排出量合計	140,806 kg	74,220 kg	116,327 kg	135,262 kg	0.96
処理量あたりの CO2 排出量	19.88 kg/t	19.28 kg/t	15.20 kg/t	18.07 kg/t	0.91
目標値	—	19.8 kg/t 以下	19.7 kg/t 以下	19.6 kg/t 以下	
達成/未達成		達成	達成	達成	

② 水使用量の削減・・・目標達成

大和プラントでの年間の水使用量は 142 m³で 227 m³以下とする目標を達成した。

トラックの洗車を南方でも行うようにしたことにより、前年から大幅に使用量が減少した。

③ 事業系一般廃棄物の削減・・・目標達成

事業系一般廃棄物の排出量は 45ℓ ゴミ袋 70 袋で、72袋以下とする目標を達成した。紙ごみの分別は継続している。

④ リサイクルの推進・・・目標未達成

2023 年度前半は搬入量が多く、後半は少なかった。3 月に九電工の現場から大量の木くず搬出があり、チップ出荷量も大きく増えたが、目標達成にはわずかに至らなかった。

	2020 年度 (基準年度)	2021 年度	2022 年度	2023 年度	基準年度比
木くず受入れ量	6,958 t	3,378 t	9,081 t	7,431 t	1.07
チップ等出荷量	4,496 t	2,523 t	5,488 t	6,697	1.48
目標値		7,200 t 以上	7,200 t 以上	7,200 t 以上	
達成/未達成		未達成	未達成	未達成	

⑤ 収集運搬車両の軽油消費量の削減・・・目標未達成

県外の現場が多く、1 日 2 往復、走行距離も 2021 年度、2022 年度に比べ大きく増えたため、運搬量 1 m³あた

りの軽油消費量 0.910以下とする目標を達成することができなかった。

	2020年度 (基準年度)	2021年度	2022年度	2023年度	基準年度比
運搬量	100,595 m ³	75,464 m ³	108,216 m ³	87,992 m ³	0.87
(参考) 走行距離		278,254 km	302,040 km	355,947 km	
軽油消費量	93,314ℓ	90,767ℓ	106,130ℓ	122,220ℓ	1.31
軽油消費に伴う CO2 排出量	240,750 kg	234,179 kg	273,815 kg	315,327 kg	1.31
運搬量あたりの燃料消費量	0.93 ℓ/m ³	1.20ℓ/m ³	0.98ℓ/m ³	1.39ℓ/m ³	1.49
目標値		0.92ℓ/m ³ 以下	0.91ℓ/m ³ 以下	0.90ℓ/m ³ 以下	
達成/未達成		未達成	未達成	未達成	

2) 南方プラント

① 廃棄物処理量あたりの二酸化炭素排出量の削減・・・目標未達成

処理量が前年の11%増だったのに対し、電力消費量が1.38倍増、軽油使用量は1.3倍増となった。小割等の前処理等の増加、破碎機の稼働の効率化が進まなかった等の要因が考えられる。結果として処理量1tあたりの二酸化炭素排出量は、1.26倍に増加し削減目標を達成できなかった。

	2020年度 (基準年度)	2021年度	2022年度	2023年度	基準年度比
木くず・刈草受入れ量	8,101 t	3,540t	9,597t	6,112t	0.75
処理量(搬出量)	9,128 t	3,554 t	6,226 t	6,948t	0.76
電力消費量	164,504kwh	97,624kwh	121,584kwh	167,216kwh	1.02
電力消費に伴う CO2 排出量	74,849 kg	48,324 kg	60,184 kg	76,083 kg	1.02
軽油消費量	48,313ℓ	22,970ℓ	34,307ℓ	44,574ℓ	0.92
軽油消費に伴う CO2 排出量	124,648 kg	59,263 kg	88,518 kg	115,001 kg	0.92
CO2 排出量合計	199,497 kg	107,586 kg	148,696 kg	191,084 kg	0.96
処理量あたりの CO2 排出量	21.86 kg/t	30.28 kg/t	23.88 kg/t	27.50 kg/t	1.26
目標値	—	21.8 kg/t 以下	21.7 kg/t 以下	21.6 kg/t 以下	
達成/未達成		未達成	未達成	未達成	

② 水使用量の削減・・・目標未達

年間の水使用量は 58 m³で目標の 51 m³以下を上回った。トラックの洗車を南方でも行うようにしたことが要因と考えられる。

③ 事業系一般廃棄物の削減・・・目標達成

21期は450ゴミ袋51袋で、目標の60袋以下を達成した。

④ リサイクルの推進・・・目標達成

前半は十分な在庫と受入れ量があり、10月まで600t～800tの安定したチップ出荷ができた。11月は出荷

先のバイオマス発電所の定期修繕で出荷が停止したことで大きく減少、その後は大型現場終了により受入れが少なく、出荷量も少ない状態が続いたが、年間通しては目標を達成することができた。

	2020年度 (基準年度)	2021年度	2022年度	2023年度	基準年度比
木くず受入れ量	7,218 t	3,172 t	8,894 t	5,621 t	0.78
チップ出荷量	7,372 t	3,049 t	5,299 t	6,657 t	0.90
目標値	—	7,350 t 以上	6,000 t 以上	6,000 t 以上	
達成／未達成		未達成	未達成	達成	

6. 内部監査及び外部監査の結果

(1) 内部監査の結果

内部監査は2024年2月14日に大和プラント、南方プラントで実施した。

環境マネジメントシステムは適切に運用されていることが確認された。

チップ出荷量が両プラントで目標未達成、収集運搬車両の運搬量あたりの燃料消費量の削減が目標未達成となっていること、2023年11月13日に南方プラントでチップヤードに堆積したチップから火災が発生したことが問題事項として指摘があった。

(2) 外部監査の結果

2023年7月28日に行われた優良産廃規格定期サーベイランスにおいて、不適合、改善要求事項、観察事項は特になかった。

7. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認している。

法規制の大きな逸脱は見られなかった。

遵守状況は附属資料『法律その他の規制要求事項一覧表』のとおり

8. 最高責任者による評価と見直しの結果

2024年5月15日にマネジメントレビューを実施した。

(1) 全体評価

環境マネジメントシステムは適切に運用されている。

(2) 環境方針等の変更の必要性

環境目標について、伐採工事とこれに伴う産業廃棄物の排出量の減少など市況が変化していることから、目標の見直しを検討するよう指示があった。

9. コミュニケーション

第21期に実施した環境コミュニケーション活動

- ・仙台北部中核工業団地大栄会による工業団地内道路の清掃活動への参加(毎月1回)
- ・令和5年4月19日宮城県産業資源循環協会主催の「みんなで街をきれいにしようキャンペーン」の美化活動への参加
- ・令和5年5月18日みやぎ中小建設業協会主催のスマイルリバー活動への参加

- ・令和5年10月19日 宮城県産業資源循環協会主催のクリーン作戦への参加
- ・みやぎ中小建設業協会主催の献血活動への参加

10. 次年度の取り組み内容

第22期はみちのくEMS規格(第3版)、みちのくEMS(第3版)エコアクション21 産業廃棄物処理業者の相互認証附属書に対応した活動を行う。引き続き次の項目に取り組む。

- ① 廃棄物処理量1tあたりの二酸化炭素排出量の削減
- ② 運搬車両の燃料消費量の削減
- ③ 水使用量の削減
- ④ 事業ごみ排出量の削減
- ⑤ チップ出荷量の維持向上

11. その他

(1) 第21期の自社排出産業廃棄物の種類及び排出量

排出事業場	産業廃棄物の種類	排出量
大和プラント	木くず・混合	1,680 kg
	廃プラスチック類	640 kg
南方プラント	木くず	3.0 m ³
	廃プラスチック類	3.0 m ³

(2) 違反及び訴訟等の有無

特になし